

HO YOG

教区新報



HO YOG

1995. 11. 95号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
(編集) 教区基推委広報部



25日の仏婦センター研修会 600人を超す参加

相次いでセンター研修

参加延べ四千二百人を超す

本願寺神戸別院・兵庫教区教化センターの竣工をまわって、神戸別院で、岡武子委員長、門徒総代会(多田実会長)、仏教婦人会連盟(木村久子委員長)では、毎年開催しているブ

て上原副輪番や職員により説明があった。各研修会の開会式では、団体代表者、並びに土基教務所長より、今回建設に関するご協力のお礼を含めて、真新しい施設で充実した研修となるようにとの挨拶があった。

式を本堂、研修をホールで行い、一日目の講師は佐々木大観師(安栗組西願寺)『現代の諸問題』(平成七年に想う)で、正信偈の勤行練習もあり、質疑応答の時間をもちて終えた。二日目と三日目は講師に久堀弘義師(神戸湊組行願寺)を迎え、前日と同様に開催された。三日間で六百十二人の参加であった。

十月六日に寺婦のセンター研修会を開催し、二百六十一人の寺婦が参加した。三日間、八ブロックを三つまず、本堂で開会式のあと、に分け、寺婦と同様に開会

まず、トップを切って、十月六日に寺婦のセンター研修会を開催し、二百六十一人の寺婦が参加した。三日間、八ブロックを三つまず、本堂で開会式のあと、に分け、寺婦と同様に開会

各教化団体の参加者総数は四千二百三十二人にもなった。

なお、仏教壮年連盟(出田求理理事長)は例年の通り七月と九月に五ブロックで研修会を開催し、来年一月二十八日にセンターで大会を予定している。(長沢弘之)



昨年四月

息子(後住二五才)が心臓疾患のため還浄しました。本

教区だより 11・12月		愛生園・光明園	
9日(木)	災害対策常任委員会 災害対策委員会	10時半 1時半	21日(火) 愛生園・光明園報恩講
10日(金)	北摂組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	極楽寺	22日(水) 教区会
13日(日)	建設推進常任委員会	10時半	25日(土)~27日(月) 仏教全国大会参加研修旅行
14日(火)	永代経開闢法要 教区常備会	1時半 10時半	27日(月)~29日(水) 神戸別院報恩講 山田尚見師
15日(水)	別院常例法座 廣岡正義師	1時半	30日(木)~12月4日(金) 中央推進員研修会
16日(木)~17日(金)	終戦50年兵庫教区全戦没者総追悼法要	1時半	2日(土) 第一土曜仏教講座 野々村智劔師
18日(土)	江並教堂報恩講	江並教堂	2日(土)~3日(日) 近畿ブロック保育大学講座
			4日(月)~5日(火) 豊岡教堂報恩講
			教区相談員研修会
			教区仏婦連盟研修旅行
			11日(月) 教区ピハラー代表者連絡会
			13日(水) 門徒総代評議員会
			10時半

新築別院で ふれあいバザール

災害対策現地本部では、大震災で被災した方々の支援活動の一環として、神戸別院報恩講期間の十一月二十七日と二十八日の両日、全国に呼びかけて、別院前庭にて「全国名産、ふれあいバザール」の開催を企画。時間は午前十一時から午後二時まで。

なお、ご賛同いただける方は兵庫教区内の物産をご提供ください。お問い合わせは教務所上原まで。

同朋運動の標語を募集

近畿六教区で構成している近畿同朋運動推進協議会では、毎年同朋運動啓発のために、同和教育振興会と共同で二種類の標語ポスターを作成、配布しています。

今年も標語を広く募集します。ふるってご応募ください。同朋運動の推進を目的とするもので未発表のもの。原則として二十字以内。締切りは一月三十一日(必着)で、教務所近同推事務局へ郵送ください。

12月7日に 大谷千正師が フォーレ講演会

教区新報63号のされど住職でご紹介した姫路東組正楽寺住職の大谷千正師が、十二月七日午後五時より風月堂ホール(神戸市中央区元町通り・J.R元町西口南へ徒歩三分)にて神戸フォーレ協会主催・神戸市民文化振興財団後援で講演会を開催します。

今年フランス近代の作曲家フォーレの生誕百五十

年の年にあたり、フォーレ研究家の大谷師が講演。大谷師は高校卒業後フランスへ留学。パリのエコール・ノルマル音楽院、ルエリユ国立音楽院を卒業。一九八八年にはパリ・ソルボンヌ大学で博士号を取得。専攻は作曲・フランス近代音楽史。現在は相愛大学音楽部の講師でもある。

入場料は二千元。一部は震災復興義援金にされる。お問い合わせは神戸フォーレ協会まで。

078-882-6228

敬 弔

西岡教之師(にしおか・きょうし)多紀組浄福寺住職)十月九日、九十一才で往生。葬儀は十月十一日、浄福寺で、「樹行院釋教」。

昭和十五年から住職在職五十五年。この間、昭和二十七年より同三十二年まで副組長。昭和三十一年より同三十五年まで教区協議員。また昭和四十四年から同五十四年まで組長を務めた。本願寺派布教使。

梅林 攝師(うめばやし・せつ)淡路組浄光寺前住職)十月十三日、八十七才で往生。葬儀は十月十五日、浄光寺で、「智証院釋播」。

昭和四十二年より平成四年まで住職在職二十五年。

武田覺然師(たけだ・かくね)赤穂南組光西寺前住職)十月二十日、九十四才で往生。葬儀は十月二十一日、神戸市須磨区の自宅で、「慈光院釋覺然」。昭和三十三年より昭和六十二年まで住職在職三十年。

谷川秀城師(たにがわ・しゅうじょう)加古川組正念寺住職)十月二十七日、八十才で往生。葬儀は十月三十日、正念寺で、「照曜院釋秀城」。昭和十八年より住職在職五十二年。その間、昭和二十七年から同四十八年まで組長。また、昭和五十二年から教区協議員を務め、昭和五十三年から平成二年まで教区協議長を務めた。本願寺派布教使。

村上道徳師(むらかみ・どうとく)阪神北組願宗寺住職)十月二十九日、七十七才で往生。葬儀は十月三十一日、願宗寺で、「長尾院釋道徳」。昭和二十二年より住職在職四十八年。本願寺派布教使。

建設懇志進納総額
二十億六百五十六万四千七百三十八円(87%)
(95年10月31日現在)

新モダン寺で結婚式

第1号は門徒の中西さん

十月十五日、神戸別院が竣工して約一カ月。新しくなった別院で初めての仏前結婚式が挙げられた。式を挙げたのは神戸湊組門徒の中西秀人さんと播磨東組西入寺(木南昭隆住職)の門徒の西村福子さん。新郎新婦ともに仏縁の深い家庭に育った門徒。

昨年末、秀人さんの母・小夜子さんが、久堀住職に息子たちにも仏前結婚式を



別院本堂での結婚式

土基輪番の「司婚・誓いの言葉」を前に新郎新婦は緊張した面持ちで、これから的人生をとくに歩むことを誓いあった。続いて念珠の交換、指輪の交換、焼香などが行われ、土基輪番より祝辞があった。

その後式杯、祝杯、親族紹介で式を終了し、記念撮影も行われ、披露宴会場へ移動された。式中の「ちかいの言葉」は署名と輪番印が押印されて贈られた。

当日は別院の常例法座中であり、参拝者は「結婚式のご縁にもあわせてもらってよかった」「長年お参りしているけど初めて見ました」と感想をもしていた。また、中には四階の納骨所からも見学している人もあった。

また、二十一日にも同じく仏前結婚式が挙げられた。式を挙げたのは、杉田育哉さんと安藤浩子さん。杉田さんは多可組浄福寺住職の二男さん。厳粛な式を終えたあとの記念撮影には顔の表情もにこやかに、喜び一杯の様相であった。

復興への気運高まる

神戸東組 照光寺で起工式
神戸東組 照善寺で入仏法要

阪神・淡路大震災で被災した寺院の復興のために、宗門が設置した災害対策基金より復興資金が順次貸付されているが、十月三十一日現在二十九カ寺に対して四億千六百万円の貸付が決定している。

十月十日には神戸東組の全壊寺院二カ寺が起工式、入仏法要と相次いで営まれた。

照光寺(津守秀導住職)では更地になった境内にテントを張り、起工式が厳粛に営まれ、門信徒や工事関係者など三十人が参拝した。動行のあと、津守住職らが、鉄入れや立柱などを行い、起工を喜び合った。



神戸東組 照光寺での起工式

寺院で、五月の役員会で総事業費二億円の本堂復興計画を策定し、新本堂は鉄筋コンクリート二階建てとし、来年七月の竣工を目指している。

復興委員長の飛騨安信総代は「門徒もともに被災しており、ゼロからの出発。照光寺がやったということも多く被災寺院も奮起してもらえれば」と語った。

照善寺(杉本正義住職)では仮本堂・庫裏の落成にともなう入仏法要を勤修、門信徒や地域住民ら三百人が参拝した。動行のあと、

杉本住職は「三年後には必ず新本堂の再建を」と、復興への決意と協力をお願いした。また、住職と親しい関西芸能人がお祝いに駆けつけ、河内音頭や落語、漫才を披露し、参拝者を喜ませ、復興への気運を高めた。

今後被災寺院からの貸付申請が出されるものと予想されるが、まだ全壊寺院の三分の二は貸付申請がなされていない状況であり、復興再建については長期的な支援体制が必要とされる。

各寺から新別院団参

HO日誌

◆10月5日 氷上東組住職 寺族同朋講座・僧侶研修が受業寺で。講師は杉本昭典師(北摂組光澤寺) ◆6日 寺婦連盟研修会をセンターホールで(一面に関連記事) ◆五十年法要コーラス打合せを別院で ◆五十年法要財務部会を別院で ◆7日 睦学園・須磨ノ浦女子高校の校舎建て替え起工式に上原副輪番と別院職員が出動。同校は大震災で校舎が全壊。現在は兵庫大学、兵庫女子短大のある加古川キャンパスに仮設校舎で授業を行っている。竣工予定は来年十一月 ◆第一土曜仏教講座を別院で。講師は上山大峻師(龍谷大学教授) ◆テーマは「モダン寺からの発信」 シルクロードを越えてきた仏陀のメッセージ。大谷探検隊で知られる本願寺第二十二代宗主鏡如上人(大谷光瑞師)と別院との関わり、西域仏教の話を受けて真宗教義をわかりやすく講演。今回は特別講演として地域周辺にチラシ

を配布しての開催 ◆朝来組から別院に団体参拝 ◆播磨東組龍徳寺本堂・庫裏落慶法要、住職継職法要に土基法要 ◆姫路西組浄蓮寺前住職永正英等師の葬儀に赤松梵事が参列、達書伝達 ◆9日 邑久光明園より大谷本廟納骨・本山参拝 ◆11日 部落解放実行委員会が神戸人権会館で ◆少年連盟役員会を別院で ◆清風会の雅楽練習を別院で ◆11日 13日 門徒総代ブロック別院研修会をセンター研修ホールで(一面に関連記事) ◆12日 北摂組住職寺族同朋講座・僧侶研修が正福寺で。講師は杉本昭典師(北摂組光澤寺) ◆13日 株式会社小堀の社員が別院に団体参拝 ◆13日 14日 蓮如上上人ビッグフェスタ組長フォーラムが本山で ◆14日 永代経開闢法要を別院で ◆14日 16日 仏婦総連盟若婦人中央研修会 ◆15日 中西家・西村家の結婚式が別院本堂で(一面に別記)

保育園で映画大会



別院北側駐車場へ向う研修参加者

◆15日 16日 別院常例法座。講師は藤山達郎師(神崎組乗徳寺) ◆16日 組長会を別院で。終戦五十年兵庫教区全戦没者追悼法要について。『蓮如』前進座公演観劇について ◆17日 五十年法要実行委員会を別院で ◆仏壯連盟常任委員会を別院で ◆17日 20日 会計検査。本山より検査員が来院して教室・別院・教務所・建設会計を検査 ◆18日 和田山町老人学級二十五人が別院に団体参拝 ◆18日 20日 仏婦センター研修会(一面に関連記事) ◆20日 淡路組住職寺族同朋講座・僧侶研修が宣徳寺で。講師は杉本昭典師(北摂組光澤寺) ◆21日 杉田家・安藤家の結婚式が別院本堂で。杉田氏は多可組浄福寺の寺族 ◆22日 出石組正福寺が別院に団体参拝 ◆23日 部落解放集会所が城崎で ◆別院報恩講世話人会を別院で ◆少年連盟が「お月見映画大会」を神戸市灘区の大石

津で ◆少年連盟が映画大会を神戸市兵庫区の湊川保育園(神戸湊組西光寺)で ◆少年連盟が阪神・淡路大震災支援のための懇談会を別院で。本山少年連盟特別委員会委員長小野正信師(東海教区海幡組教連寺)や被災者復興支援活動者情報センター専従コーディネーター副高朗師と単体会代表者二十五人で懇談。

差別発言訴訟で和解

宗派と酒生氏

関係学園理事長協議会において、差別発言をしたとして、宗会議員を除名された酒生文彦氏が宗派を相手に地位確認と一千万円の慰謝料を求めて京都地裁で争っていた訴訟は十月二日付け裁判長の職権和解の勧告により「酒生氏が宗会議員を辞任し、今後お互いに権威、名誉などを侵害する言動をしない」などの条件で和解が成立。

詳細については「宗報」十月号(89ページ)を参照ください。

職員募集要項

- 勤務内容 法務・事務全般
- 勤務場所 神戸別院・教区教務所
- 勤務時間 午前九時～午後四時半(但し晨朝は別)
- 勤務条件 採用後三カ月間は実習期間
- 採用人員等 若干人
- 採用日 平成八年四月一日
- 応募資格 平成八年四月一日現在二十六歳未満で男子は本願寺派教師または教師取得見込み者で、最低二年間は日曜出勤できる者。女子は本願寺派の僧侶、寺族、門信徒。
- 申込受付期間 平成七年十一月十日迄
- 提出書類 所定の履歴書・身上書、健康診断書、最終学歴の卒業(見込)証明書及び成績証明書
- 採用試験科目 筆記・面接試験
- 待遇 役宅有り、社会保険加入給与等は面談時に決定
- 問い合わせ 本願寺神戸別院(上原迄)